

<全体分析>

試験時間

90分

<p>解答形式 READING SECTION、GRAMMAR/EXPRESSION SECTION がマーク式で、WRITING SECTION が記述式。</p> <p>分量・難易 (前年比較) 分量 (減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加) 難易 (易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)</p> <p>読解問題の本文の総語数は2,197で、3年連続の減少となっていた2019年度の2,113と同程度である。</p> <p>出題の特徴 READING SECTION、GRAMMAR/EXPRESSION SECTION、WRITING SECTION の3つの部門で構成されている。 その他トピックス (入試改革の方向性を踏まえた目新しい出題など) GRAMMAR/EXPRESSION SECTION は3年連続して出題されている。</p>
--

<大問分析>

番号	区分	出題分野・テーマ	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
I	読解総合	「アフリカ大陸に対するヨーロッパの植民地化の歴史」 (1,255 words)	パラグラフの趣旨選択、内容不一致、語義選択。文章自体は比較的読みやすいが、解答に当たっては細かい点まで把握していることが必要。	標準
II	読解総合	「日本初の女性オリンピックメダリストの短すぎる生涯」 (942 words)	内容不一致、内容一致、空所補充。本学部の中では比較的短い英文で、語彙レベルも高くないので読みやすい。ただ、文章に登場する人物や事物について一致しない記述を選択する問題が出されるため、細々した点まで丁寧に読み込む必要がある。(3) [9]のような問題では、文章中の離れたところに書かれている内容を関連付けて考える能力が問われる。	標準
III	文法・語法	会話文への空所補充	3か所空所がある会話文が3セットあり、それぞれの空所に入れるのに不適切なものを5つの選択肢から1つ選ぶ。紛らわしい選択肢は比較的少ない。	標準
IV	英文解釈	「ワクチン接種へのネガティブキャンペーンに対する反論」 (325 words)	「中心となるポイントを日本語で簡潔にまとめよ」という指示がある。制限字数はないが、解答欄のスペースから判断して、150~200字で書くことになるだろう。	やや難
V	英作文	「自転車運転時のヘルメットの着用の義務化」について	例年は提示された内容について賛成か反対の立場で意見を述べることを求めているが、本年度は括弧書きで You may also express an opinion partly agreeing and partly disagreeing. という記述が加わっていた。制限語数はないが、解答欄のスペースから判断して、100語前後で書くことになるだろう。	やや難

注：区分は「英文解釈」「読解総合」「英作文」「文法・語法」「聞き取り」「その他」

難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

- ・読解総合問題…長文を題材に、各パラグラフの趣旨を正確に把握しながら、文章を読む練習が不可欠である。日頃から、幅広いジャンルの英文を数多く読み込んで速読力をつけておくこと。
- ・大意要約問題…英文を読み、その趣旨を日本語で簡潔にまとめなければならない。英文を読みながら、内容をメモし、そこから要約文を完成させるという練習をしておくといだろう。
- ・自由英作文問題…与えられたテーマについて自分の意見を英文で書くことが求められる。英語表現だけでなく、自分の意見が明確に伝わるよう展開にも配慮することが必要だ。可能であれば、添削指導を受けるとよい。